

平成27年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アイ・オー・データ機器
 コード番号 6916 URL <http://www.iodata.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室 室長
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 細野 昭雄
 (氏名) 真田 秀樹

TEL 076-260-3377

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期第1四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第1四半期	9,461	5.5	470	70.9	465	40.6	280	17.2
26年6月期第1四半期	8,968	15.9	275	—	331	—	239	—

(注) 包括利益 27年6月期第1四半期 869百万円 (519.9%) 26年6月期第1四半期 140百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第1四半期	21.95	—
26年6月期第1四半期	18.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第1四半期	30,375	20,356	66.8
26年6月期	31,020	19,679	63.2

(参考) 自己資本 27年6月期第1四半期 20,290百万円 26年6月期 19,614百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年6月期	—	—	—	—	—
27年6月期(予想)	—	0.00	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,700	△0.2	500	△43.5	550	△35.8	340	△63.2	26.58
通期	44,500	△3.7	1,400	△37.1	1,500	△38.3	900	△55.2	70.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期1Q	14,839,349 株	26年6月期	14,839,349 株
② 期末自己株式数	27年6月期1Q	2,045,429 株	26年6月期	2,045,429 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期1Q	12,793,920 株	26年6月期1Q	13,156,231 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策等を背景に緩やかな回復基調を保ちましたが、消費税率引き上げにともなう駆け込み需要の反動減による個人消費の落ち込みや、海外経済の減速への警戒感の高まり等から、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループに関係するデジタル家電市場では、スマートフォンやタブレット端末関連は引き続き堅調に推移しましたが、Windows XPのサポート終了による更新需要の収束が緩やかに進む中、消費税率引き上げにともなう駆け込み需要の反動減も重なり、パソコンおよびTV関連市場は低調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは、市場の変化に機敏に対応する魅力的な商品・サービスの拡充を加速し、需要の掘り起しや商談獲得に努めると共に、新市場の創造に取り組みました。また、安定収益確保を目指して、採算性を重視した事業展開を着実に進めて参りました。

以上により、当第1四半期連結累計期間の売上高は94億61百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益は4億70百万円（前年同期比70.9%増）、経常利益は4億65百万円（前年同期比40.6%増）、当期純利益は2億80百万円（前年同期比17.2%増）となりました。

[メモリ]

メモリ部門の売上高は7億2百万円（前年同期比16.7%増）となりました。

メモリモジュールは、Windows XPのサポート終了にともなうパソコンの更新需要の一巡により販売台数は減少し、売上高は前年同期の実績を下回りました。メモリカードやUSBメモリ等のフラッシュメモリは、お手頃価格の普及帯モデルの売れ行きが好調に推移し、売上高は前年同期の実績を上回りました。スマートフォンとパソコンで共用できるUSBメモリに新たにiPhoneやiPadに対応した新製品「iStick」を発売しました。

[ストレージ]

ストレージ部門の売上高は24億72百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

主力のハードディスクは、前連結会計年度後半より続く競合他社の価格攻勢の下、採算重視の事業展開を堅持したことによるマーケットシェアの低下から、売上高は前年同期を下回りました。

光ディスクドライブは、音楽CDを直接スマートフォンやタブレットに取り込める「CDレコ」シリーズの展開を強化しました。販売パートナーの開拓を進めると共に、iPhoneやiPad、iPod touchに対応した新モデルを発売、従来モデルについてもCD作成等の機能拡張を進め、売上高は前年同期を上回りました。

[液晶]

Windows XPのサポート終了による更新需要が収束する中、前連結会計年度において進展したマーケットシェアの高まりが販売の減少を補い、売上高は前年同期を上回る23億76百万円（前年同期比26.9%増）となりました。当第1四半期連結累計期間においては、バックライトのちらつきを無くした、目に優しい「フリッカーレス」モデルやフルハイビジョンの約4倍の解像度を持つ4K対応ディスプレイを発売しました。

[周辺機器]

スマートフォンやタブレットの普及、企業のIT投資の復調等を背景に、主に無線LANやNAS等のネットワーク分野は伸長しましたが、各種デバイス用の地デジチューナーを中心にしたマルチメディアおよびデジタル家電向け映像関連分野が伸び悩み、周辺機器部門の売上高は僅かに前年同期を下回る18億69百万円（前年同期比1.9%減）となりました。

ネットワーク分野では、スマートフォンで手軽に遠隔地をモニターできる「Qwatch」シリーズについて、エントリーモデルやTVでモニターすることができるオプションの充実を図りました。また、NASについては、来年7月にサポートが終了する業務用パソコンサーバーのOS「Windows Server 2003」の更新需要を機に、信頼性とトータルコスト面に優れたNASによるサーバー代替提案を本格化しました。また、個人向けNASでは、スマートフォンで自宅の録画番組を視聴できる「REC BOX+REMOTE」シリーズについて、新たにDLPA（※1）の共通仕様「DLPAリモートアクセスガイドライン2.0」に対応し拡販を進めました。

映像関連分野においては、USB接続で4K表示を実現した世界初（※2）のパソコン接続用USBグラフィックアダプターの発売を開始しました。

※1：DLPA (Digital Life Promotion Association) は、デジタル技術の進歩により可能となる新たな活用形態について、その健全な発展に寄与することを目的に設立された協会であり、利用者の利便性の向上と著作権保護等の規制遵守の両立を目指して、ガイドラインの策定や普及活動に取り組んでおります。

※2：平成26年6月現在当社調べ

[特注製品]

デジタル家電関連や通信事業者向けのOEM、特注品の販売を主とする当部門は、案件が堅調に推移し、売上高は5億23百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

[その他]

自社のラインナップを補完する他社ブランド商品の販売を主とする当部門は、サムスン電子製SSD（フラッシュメモリを使用した記憶装置）やVerbatim®（バーベbatim）ブランドの光ディスクメディアの販売が堅調に推移し、売上高は15億17百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて6億44百万円減少し、303億75百万円となりました。これは、たな卸資産が3億28百万円増加し、現金及び預金が12億89百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて13億22百万円減少し、100億18百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が9億70百万円、未払法人税等が2億12百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて6億77百万円増加し、203億56百万円となりました。これは、四半期純利益2億80百万円の計上と、繰延ヘッジ損益が4億10百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、平成26年8月12日付「平成26年6月決算短信」にて公表いたしました数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、当第1四半期連結会計期間より、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を適用しております。

株式交付規程に基づき従業員の当社株式の給付に備えるため、当第1四半期連結会計期間末における株式給付債務の見込額に基づき株式給付引当金を計上しております。

当社は、当社の中長期的な企業価値を高めることを目的として、従業員に信託を通じて自社の株式を交付する取引を行っております。

1. 取引の概要

平成26年8月に中長期的な企業価値を高めることを目的として、従業員インセンティブ・プラン「株式付与E S O P信託」(以下「E S O P信託」といいます。)を導入いたしました。

「E S O P信託」では、当社が当社従業員のうち一定の要件を充足する者を受益者として、当社株式の取得資金を拠出することにより信託を設定します。当該信託は予め定める株式交付規程に基づき当社従業員に交付すると見込まれる数の当社株式を当社から取得します。その後、当該信託は、株式交付規程に従い、信託期間中の従業員の職位等に応じた当社株式を、在職時に従業員に交付します。当該信託により取得する当社株式の取得資金は全額当社が拠出するため、従業員の負担はありません。

2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、当第1四半期連結会計期間末73百万円、99,000株であります。

3. 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,228	4,938
受取手形及び売掛金	8,129	8,106
商品及び製品	7,808	7,779
原材料及び貯蔵品	1,660	2,017
その他	1,402	1,693
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	25,226	24,533
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,880	2,880
その他(純額)	953	945
有形固定資産合計	3,833	3,826
無形固定資産		
	155	156
投資その他の資産		
その他	1,804	1,858
投資その他の資産合計	1,804	1,858
固定資産合計	5,793	5,841
資産合計	31,020	30,375
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,000	5,030
短期借入金	2,000	2,000
未払法人税等	396	184
ポイント引当金	9	11
賞与引当金	—	151
その他	2,349	2,052
流動負債合計	10,756	9,429
固定負債		
役員退職慰勞引当金	110	110
リサイクル費用引当金	342	343
製品保証引当金	92	89
株式給付引当金	—	6
その他	38	38
固定負債合計	584	589
負債合計	11,340	10,018

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,588	3,588
資本剰余金	4,228	4,242
利益剰余金	12,779	12,868
自己株式	△1,222	△1,237
株主資本合計	19,372	19,461
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67	89
繰延ヘッジ損益	259	669
為替換算調整勘定	△85	69
その他の包括利益累計額合計	241	829
少数株主持分	65	65
純資産合計	19,679	20,356
負債純資産合計	31,020	30,375

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
売上高	8,968	9,461
売上原価	7,303	7,456
売上総利益	1,664	2,005
販売費及び一般管理費	1,389	1,534
営業利益	275	470
営業外収益		
受取利息	3	0
仕入割引	22	16
持分法による投資利益	37	5
保険配当金	20	3
その他	14	17
営業外収益合計	98	43
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	20	22
売上割引	19	25
その他	2	0
営業外費用合計	43	49
経常利益	331	465
特別損失		
会員権評価損	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前四半期純利益	330	465
法人税、住民税及び事業税	43	81
法人税等調整額	36	101
法人税等合計	79	183
少数株主損益調整前四半期純利益	251	281
少数株主利益	11	0
四半期純利益	239	280

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	251	281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	22
繰延ヘッジ損益	△130	410
為替換算調整勘定	2	133
持分法適用会社に対する持分相当額	0	20
その他の包括利益合計	△110	587
四半期包括利益	140	869
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	129	868
少数株主に係る四半期包括利益	10	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。